

## 12/20 ルカの福音書 2章 8-20 節「この方こそ主キリストです」

小池 宏明 牧師

### ※飼葉桶のみどりごに最高の称号「主キリスト」が与えられる

主イエス様の誕生は、御使いによって、羊飼いたちに告げられた。2章 11 節「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。・・・」

石造りの飼葉桶に寝かされた方こそ、「主キリスト」である。それは「キリストである主」という意味だ。

キリストとは「油注がれた者」という意味のギリシャ語で、ヘブル語ではメシヤと言う。「油注がれた者」とは、祭司や王様のような特別な勤めを果たす人のことを指していたが、やがて、選民であるイスラエル民族に、救済者が到来する、メシヤが来る、という期待に変わって行った。

そして、そのメシヤが、今日、ダビデの町に生まれた、と告げられた。何とも驚くべき、嬉しい知らせではないだろうか！主なる神様は、大きな恵みを大胆に、そしてある意味、個人的に親密に伝えて下さった。主の福音はすべての人に与えられているが、誰でもいいのではなく、今、あなたに、私に、告げ知らされているのだ。

### ※主を捜しに出かけた羊飼いたち

ダビデの町ベツレヘムに、この日、他にも赤ちゃんが生まれていたかもしれないが、飼葉桶に寝ている赤ちゃんはイエス様だけだっただろう。羊飼いたちは、伝えられたしるしによって、その子を捜し当てて、確かに主のことば通りだったと、主なる神様を崇めて、主を賛美したのである。

私たちの人生の旅路も、主イエス・キリストを探し求め、主にお会いする道のりなのである。

「救い主が生まれた」、「この方こそ主キリスト」、「私たちが治める平和の君」なのだから、その知らせを聞いて、知らん顔することができるだろうか。

「とにかく、飼葉桶の赤ちゃんを捜しに行こう」と素直に応答した羊飼いのように、私たちも、主イエス様を探し求めるために、「キリストである主」にお会いするために出発したい。

本当に、キリストなのか、本当に主なる神様なのか、急いで行って、探し求め、はっきり知ろうではないか。もっともっと求めて、主イエス・キリストとの深い交わりを持とうではないか。この救い主、イエス様について知らされたことを、愛する人たちに伝え、主なる神様を崇め、ほめたたえようではないか。

私たちは主イエス様を呼び求めて祈る。聖霊なる神様が、今、主とともにいる、という実感を与えていて下さるように。

